

平成23年 4月 4日
東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第4回定例会議（2月24日） の審議概要について

～抽出案件6件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成22年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第4回定例会議が2月24日（木）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、③談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件6件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官

かとう はるよし
加 藤 治 儀（内線6221）

経 理 調 達 課 課 長 補 佐

ほんま かずひこ
本 間 和 彦（内線6554）

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成23年 2月24日（木）東北地方整備局会議室	
委員	部会長 三輪 佳久（弁護士） 部会長代理 真野 明（東北大学大学院工学研究科教授） 委員 貝山 道博（山形大学人文学部教授）	
審議対象期間	平成22年10月 1日～平成22年12月31日	
総抽出案件	総件数	6件
工事	抽出案件	件数 3件
	一般競争（WTO対象）	1件
	一般競争（WTO対象外）	2件
	工事希望型競争	0件
	通常指名競争（港湾土木）	0件
	通常指名競争（空港等土木）	0件
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品の製造等	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

抽出案件工事概要書

	工 事 名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
1	小名浜港東港地区臨港道路航路部下部工事	一般競争 (WTO対象)	いわき市小名浜港 港内	1,656,585 1回目落札	8者	7者
2	石巻港雲雀野地区防波堤(南)本体工事	一般競争 (WTO対象外)	石巻市西浜地先 ケーソンヤード構 内	87,150 1回目落札	1者	1者
3	酒田港北港地区防波堤(北)(第二)被覆工事	一般競争 (WTO対象外)	酒田市古湊地先	25,200 1回目落札	12者	11者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業 務 名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
4	久慈港海岸電着技術現地試験	簡易公募型競争 入札	—	22,942 2回目落札	3者	3者
5	東北地方の太平洋沿岸地域における広域災害対応方策検討業務	簡易公募型プロ ポーザル	—	6,300 —	1者	1者

抽出案件役務及び物品概要書

	業 務 名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 (指名) 業者数
6	石巻港ケーソン進水装置修理工事	一般競争	石巻港ケーソン ヤード構内	11,025 1回目落札	1者	1者

	意見・質問	回 答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし	
2-1	審 議 一般競争 「小名浜港東港地区臨港道路航路部下部工事」 ・入札参加者数が競争参加資格を確認した者より1者少ない理由は何か。 ・本工事と「小名浜港東港地区臨港道路航路部下部工事（その2）」に分けて発注した理由は何か。 ・代表者が同一のJVが（その2）工事も落札しているが、施工場所が近い同様な工事の場合、同一の者が落札し易くなるのか。 ・最低入札者以外の者が落札した割合は、どれくらいか。	・競争参加資格確認通知後に1者が指名停止となり、競争参加資格を取り消したことから、入札参加者が1者少なくなった。 ・施工場所の土質条件等により、本工事対象区間はニューマチックケーソン基礎構造を、（その2）工事対象区間は鋼管井筒基礎構造を採用したため、施工方法及び競争参加資格が異なることから、基礎構造ごとに分けて発注した。 ・基礎構造の異なる工事であり、競争参加資格要件や技術提案の内容は異なっている。 現場を良く理解し、優れた提案、精度の高い積算をした結果、代表者が同一のJVが2件とも落札したものと考える。 ・今年度の標準型の総合評価で、最低入札者以外の者が落札した割合は4割程度となっている。
2-2	審 議 一般競争 「石巻港雲雀野地区防波堤（南）本体工事」 ・参加可能者が18者いるのに、1者しか参加しなかった理由は何か。 ・落札率が高かった理由は何か。 ・工事の発注件数が減っている中で、1者しか参加しないという状況を、どう考えているのか。	・参加要件を満たしながら入札に参加しなかった者にヒアリングしたところ、技術者の配置が出来なかったため参加を見送ったとの回答を得ている。 ・ケーソン製作であり積算が比較的容易な工事であること、過去の同種工事の積算内訳も公表されていることから、精度の高い積算が行われたものと考えられる。 ・中小企業の場合、技術者が少ないなどの理由から、やむなく参加を見送ったものと考えている。 結果として1者しか参加しなかった実態も踏まえ、競争性の確保に向けて検討して参りたい。

	意見・質問	回 答
2-3	<p>審 議 一般競争 「酒田港北港地区防波堤（北）（第二）被覆工事」</p> <p>・総合評価落札方式の評価タイプを決める基準は何か。</p> <p>・単工種の工事であるが、入札額にばらつきが生じていることの原因は何か。</p>	<p>・工事の技術的難易度により、評価タイプを選定している。</p> <p>・工事費内訳書を確認したところ、工事原価にほとんど差は無く、一般管理費にばらつきがあった。各企業の受注意欲の差により、入札額にばらつきがでたのではないかと考える。</p>
2-4	<p>審 議 簡易公募型競争入札方式 「久慈港海岸電着技術現地試験」</p> <p>・入札参加者を選定するための評価において、専門技術力の評価が低い者であっても入札額が最低であれば受注できることになるが、業務の履行に関し支障は生じないのか。</p>	<p>・本評価は、「指名されるために必要な要件」を全て満たす者の中から、10者程度を指名するために実施しているものである。</p> <p>専門技術力の評価が低い者は、港湾空港関係の受注実績が無いことにより評価が低くなっているが、同種業務の履行実績を有していることから、業務の履行に関し支障は生じないと判断した。</p>
2-5	<p>審 議 簡易公募型プロポーザル方式 「東北地方の太平洋沿岸地域における広域災害対応方策検討業務」</p> <p>・1者しか参加表明していないのは、手続き開始の公示及び業務説明書において、業務内容の詳細が把握できないからではないか。</p>	<p>・業務内容の詳細は、特記仕様書において把握できるようになっているが、今後、さらに業務内容が分かりやすくなるよう工夫して参りたい。</p>
2-6	<p>審 議 一般競争 「石巻港ケーソン進水装置修理工事」</p> <p>・製造メーカーの関連会社以外の者が競争に参加してくる可能性は極めて低いと思うが、一般競争入札で実施する必要はあるのか。</p>	<p>・結果として1者のみの参加となったが、参加可能者が複数いることから、一般競争入札により実施したものである。</p>